

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本

NO, 24

2020年 12月28日

申1号提出！

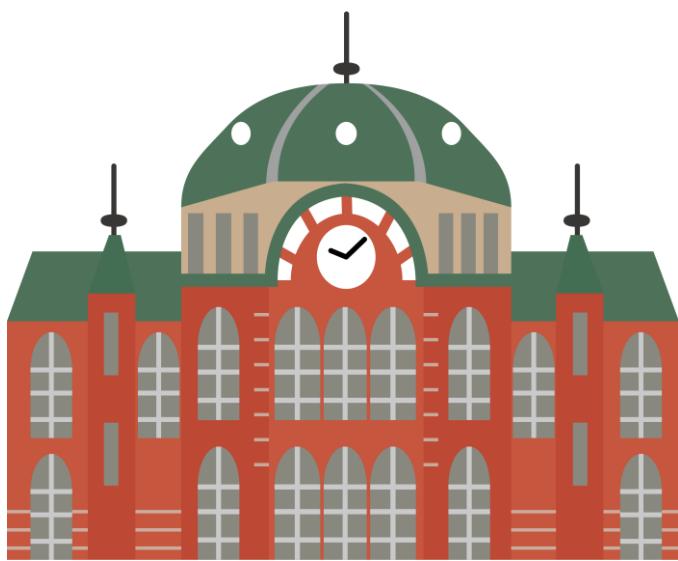
12月21日、申1号を支社に提出しました。

申1号は、12月12日に開催した『東日本ユニオン東京地本第9回定期大会』において組合員の皆さんから寄せられた声をもとにその内容を構成したものになっています。

日々職場で奮闘している仲間たちの声を実現し、より良い職場とより良い会社を創造するために取り組みを進めます。

《申1号 内容》

- 1、新型コロナウイルス感染予防のために、JR東日本東京支社が関係会社及びパートナー会社に働きかけ、エルダー社員ならびに関係会社社員及びパートナー会社社員に、マスク・手洗い用洗剤・アルコール消毒剤配布や毎日のリネン交換などを確実に行うこと。
- 2、職場における社員と職場管理者の「双方向会話」の質を高めること。
- 3、年次有給休暇の扱いや勤務操配において不公平感をなくすこと。
- 4、業務委託の進む駅職場においては、お客様を迎える職場の現実に見合った作業内容とすること。
- 5、駅業務委託を予定している職場においては、社員の疑問や不安を解消するように努めること。
- 6、夜間作業を担うJR東日本社員ならびにグループ会社社員・パートナー会社社員の労働条件・労働環境を改善すること。
- 7、扶養認定範囲を拡大し、ハンディキャップを持つ子弟に家族証を発行すること。



多くの「問題」は、職場で発生します。労働組合は組合員と家族のために、問題解決・不安解消に取り組まなければなりません。

職場で多くを経験してきた皆さんの知恵とチカラを『全・集中』でよろしくお願ひします。

コロナ禍のなかで、仲間たちは不安と疑問に振り廻されながら、日々職場で奮闘をしています。子供たちの笑顔や弾ける笑い声が鉄道に溢れるまで、私たちが健康でいなければなりません。

この会社を支えているすべての労働者と家

族のためにもうひと頑張りヨロシクお願ひします。